

仙台大1-DAY見学会 仙台大学に行ってきました

12月10日（金）普通科2年63名全員が「ワンデー見学会」として仙台大学に行ってきました。

普通科は2年次から類型学習がスタートし、それぞれの分野について探求的な学びを深めています。

今回は仙台大学の「スポーツ情報マスメディア学科」と「子ども運動教育学科」を訪問し、授業の様子を見学し、一部体験することができました。



スポーツ情報マスメディア学科



子ども運動教育学科

◇生徒①◇スポーツ情報マスメディアについて

校内・校外に限らず、実習や演習を通して得意な分野を活用しながら、情報で分析するものだと分かりました。

実際に最前線で情報分析したり、管理したりして、アスリートを支える一部として、収集→分析→伝達を軸にして戦術を練っている学科なのだと分かりました。

1つのことに集中するだけではなく、他にも気をつかいながら情報収集することを学びました。

◇生徒②◇ふたつの学科について

子ども運動教育学科は、子どもについて学ぶ学科ですが、大学に子どもたちがいてビックリしました。時間を作り、子どもたちと遊んだり、お世話に来たりできると話しており、常に子どもたちとふれ合いながら学ぶことができる大学なので、魅力的だなと思いました。

スポーツ情報マスメディア学科は、聞いた事のない学科だったので、少し難しかったです。インタビューとかに興味がある人は、実際に試合を見に行って分析できるので良い環境だと思いました。私の将来の夢とは全然違う分野でしたが、大学に行ったのは初めてで、大学生の雰囲気味わうことができ、将来がたのしみになりました。

◇生徒③◇

子ども運動教育学科について分かったこと

- ・子どもにとって必要な運動とは「遊び」であり、その遊びとは子ども自らが「これをしたい」と自発的に行う自由な活動であるということ。
- ・「遊び」とは「好きなこと・やりたいこと」に「熱中する」という学びであること。

仙台大学1Day見学会

3年次の進路選択に向けて、仙台大学での学習について知ること、高大7年間のスパンで学習や進路を考える機会とする。

普通科のプログ

↓ QRコード

